

ひがしかわぐち

東川口地区 (第二期)

(新潟県長岡市)

- 計画期間 平成22年度～平成24年度
- 面積 50ha
- 交付対象事業費 119.3百万円
- 市人口 267,642人 (地区内人口 1,080人)

ポイント

- ・ 安全安心の暮らしを実現
- ・ 人と人との交流による、うるおいと笑顔あふれるまちづくり

地区概要

流雪溝等の生活基盤を整備し、冬期間の生活環境の向上を図り安全安心の暮らしの実現を図る。また、まちなか交流拠点施設整備により、地区外へ情報を発信し「心に残る出会いと交流、誇りと潤いある暮らし」の実現を目指す。

目標 中越大震災からの復興を確かなものとするため、良好な居住環境の形成により、うるおいのある暮らしが出来るまちづくりを行う。

指標

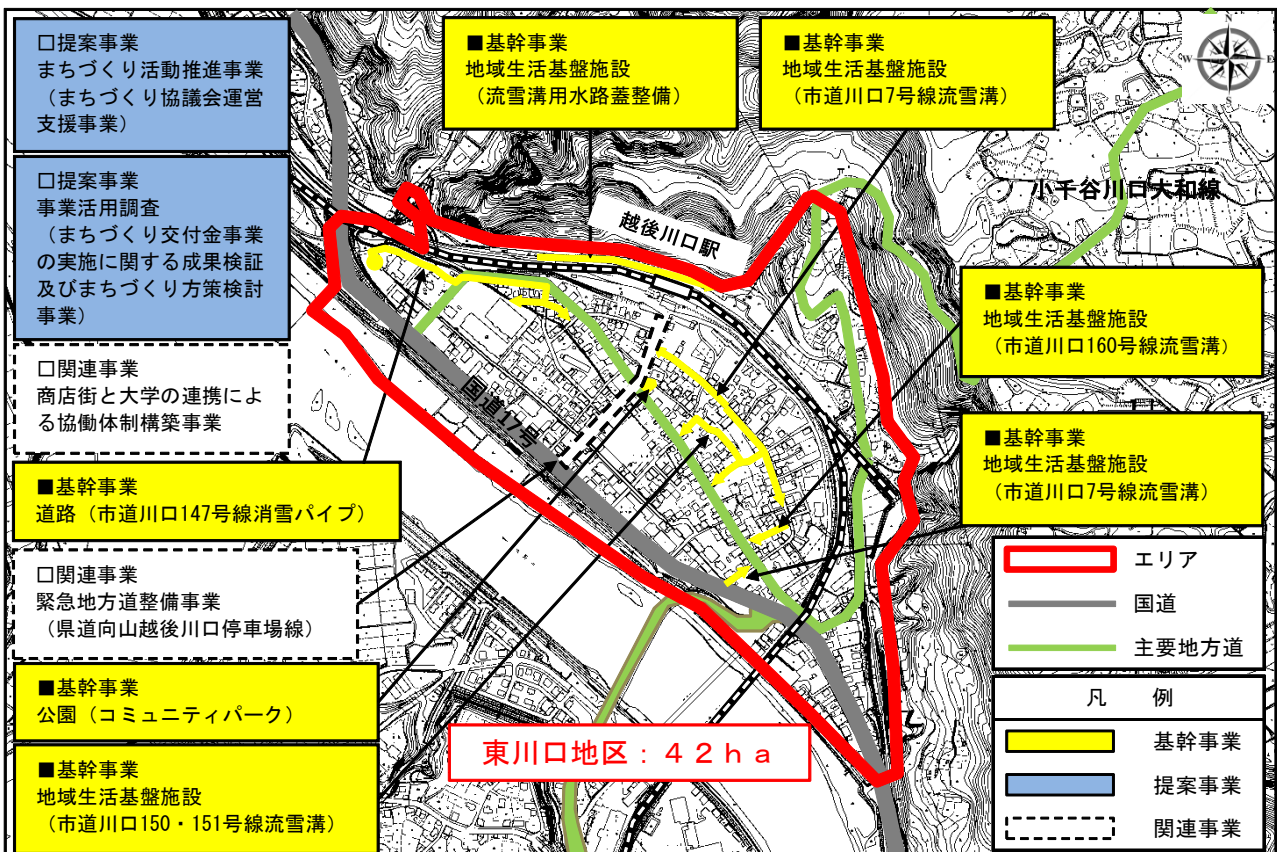
- ①冬期間の生活の利便性、快適性を高める。
- ②中越大震災により希薄になった地域コミュニティ、地域活動を活性化する。
- ③地区外への情報を発信し、人と人との交流を図る。

定住人口の維持	1,203人(H21) → 1,146人(H24)
イベント参加人数	6,605人(H20) → 9,885人(H24)
生活環境の満足度	51%(H21) → 60%(H25)

事業内容

基幹事業 (114.6百万円) → 道路(消雪パイプ 散水管 L=172m・送水管 333m)、公園(コミュニティパーク A=243㎡)、地域生活基盤(流雪溝 5路線 L=771m・流雪溝水路蓋 L=310m)

提案事業 (4.7百万円) → まちづくり協議会運営支援、まちづくり交付金事業の実施に関する成果検証及びまちづくり方策検討事業



地区の現況と課題

東川口地区は行政機関、商店街、医療機関が集中し、その周辺に住宅地が形成された複合地帯であり、JR 越後川口駅を中心とした町の玄関口として中心的役割を担っている。

人口の減少、高齢化傾向は本町、本地区としても否めず、さらに、新潟県中越大地震以降、急激に人口が減少した。社会的要因による人口の減少を食い止め、居住人口を維持するためには、良好な居住環境・生活環境の整備が緊急の課題となっている。

震災以降希薄になった、となり近所の繋がり、地域内の連帯、情報交換、情報発信源の場としてのコミュニティ拠点を整備し、地区住民が有効活用するための活動を支援する。

提案事業の特徴

まちづくり協議会運営支援（まちづくり活動推進事業）

平成 17 年度より地域住民及び行政が協働ですすめてきたまちづくりに地元大学を迎え、持続的・発展的なまちづくりに向けた取り組みを検討し、方針を決定した。

また、地区住民・行政及び長岡造形大学による検討から、空地利用事業及びコミュニティパーク整備事業等の実施計画を策定した。



コミュニティパーク完成

計画策定プロセス

東川口震災復興委員会（東川口まちづくり協議会）

震災からの復興へ向け、平成 17 年度から東川口震災復興委員会とともに、今後の克雪施設について検討し、平成 18 年度に全体計画を策定した。震災から 7 年経過し、地域活動の継続に向け、平成 22 年からは東川口まちづくり協議会が発足した。

まちづくり交付金事業としては、H16～H20 に 1 期計画を終了し、事後評価結果を踏まえ、都市再生整備計画（2 期計画）を作成した。2 期計画の期間は平成 22 年度から平成 24 年度となっている。

冬期間の状況



東川口地区まちづくり協議会



地域の活動状況

【地域コミュニティ：よつげ亭ふれあい市】
中越大地震からの復興を祈念して、平成 19 年 4 月より月 1 回、第 3 日曜日に開催中。地域から元気を発信中！！

